

特別の教科 道徳 Q4

(中学校)

道徳教育の全体計画の別葉の作成に当たって、どのような工夫をすればよいですか。

★ ポイント

別葉を作成することの意義を踏まえ、具体的で実際に活用しやすいものになるよう形式も含めて各学校で工夫し作成することが大切です。

1 別葉の意義

学習指導要領では、各教科等における道徳教育についての内容及び時期を全体計画に示すこととされていますが、全体計画の中に、具体的な指導の内容及び時期を示すことは容易ではありません。そこで、別葉を作成することが求められています。

別葉の作成

- ・ 道徳科での指導との関連性が明確になります。
- ・ 各教科等における道徳教育の確実な実施につながります。
- ・ 全教師が道徳教育の進捗状況を把握できます。
- ・ 組織的な道徳教育を推進できます。

2 別葉の例

【資料1】第1学年における全体計画の別葉の例

内容項目	各教科等		数 学		理 科
	国 語	月	月	月	
B- (1) 「思いやり, 感謝」	「大人になれなかった弟たちに」 時代や状況の中で自分を見つめることの大切さを考える。	9月	「正負の数の計算」 正負の数について、ペアやグループで協力しながら学習を深める。	4月	「実験の基本操作」 実験器具の操作について、通年を通して協力しながら学ぶ。
B- (2) 「礼儀」	「項目を整理して伝える」 相手の立場に立って、伝えるべき項目を考え、整理する。	9月			「実験器具の片付け」 次に使う人のことを考え、授業で活用した実験器具をきちんと片付けることができる。
B- (3) 「友情, 信頼」	「少年の日の思い出」 登場人物の心情の変化を読み取り、生きることについて考える。	1月	「ペアやグループ学習」 学び合いを深めることができるように、互いを信頼し、学習に臨める。	通年	「観察活動」 身の回りの動植物の観察をグループで協力しながら行う。

* 別葉作成上の留意点

- ・ 各教科で内容項目と実施時期を明記します。
- ・ 学校の重点内容項目から作成します。
- ・ 年間を通して、全職員で加除修正しながら、実効性のある別葉を作成します。